

愛媛大学と連携した学生の防災士養成【松山市】

～実践的學生防災リーダー育成プログラムによる地域防災力の向上～

【取組概要】

平成17年度から全国に先駆けて公費負担による防災士養成を開始し、平成26年度からは愛媛大学と連携した「防災士養成講座」を開講して、更なる養成の拡充を図っており、現在、松山市の防災士数は全国一の2,383名となっています。(H27.6月末現在)

さらに、平成27年度からは愛媛大学学生が単位取得できる履修科目の中で「防災士」の資格を取得し、市の消防局や危機管理課と連携して地域の防災訓練への参加や災害対応などの実践を学び、卒業後には地域企業などで即戦力の防災リーダーとして活躍できる人材の育成をスタートします。

これにより、防災の技術と知識を有した若い力を地域に送り込むことで、息の長い防災対策が図れるとともに、若い世代への防災の意識付けや地域防災の活性化につながるものと期待しています。

人口 516,571人

担当部署 消防局 地域防災課

事業実施期間 H27年4月～

【取組のポイント(先進性)】

官学連携による防災人づくりで、地域防災の充実強化を図る取組を続けてきた中、大学生の役割と将来性に注目し、若い防災リーダーを育成することで何十年と地域防災の推進役として活躍できる仕組みづくりに取り組みます。

こうした大学と行政が協働して、防災士の養成からフォローアップに加え、地域とのつながりまでを継続して連携する事業は他市にも例を見ない事例と思われます。

【今後の構想】

今後は、大学生の防災士で構成する「愛媛大学防災リーダークラブ」の活動を通じて、地区防災計画の作成や地域の防災訓練の支援など、地域と密着して地域防災力の向上が進められるものと期待しています。

地域防災の担い手は高齢化が懸念されており、若い力と柔軟な発想を持った大学生が参画することによる地域防災の活性化にも期待しています。

